

	職場環境要件	当法人としての取り組み
入職促進に向けた取り組み	法人や事業所の経営理念やケア方針・人材育成方針、その実現のための施策・仕組みなどの明確化	経営理念、ケア方針、人材育成方針を作成し、見直しを行っている。
	他産業からの転職者、主婦層、中高年齢者等、経験者・有資格者等にこだわらない幅広い採用の仕組みの構築（採用の実績でも可）	主婦層、中高年齢者の受け入れ、幅広い採用を行っている。
資質の向上やキャリアアップに向けた支援	働きながら介護福祉士取得を目指す者に対する実務者研修受講支援や、より専門性の高い介護技術を取得しようとする者に対するユニットリーダー研修、ファーストステップ研修、喀痰吸引、認知症ケア、サービス提供責任者研修、中堅職員に対するマネジメント研修の受講支援等	研修日を勤務日とし、交通費を実費支給している。介護福祉士を目指す職員には研修費用の支援を行っている。法人から指定した研修については全額支給している。
	エルダーメンター制度の導入	職員毎に担当のメンターを決め、仕事上の課題や悩みを共有し、本人だけで悩まなくてよい環境を構築している。
両立支援・多様な働き方の推進	子育てや家族等の介護等と仕事の両立を目指す者ための休業制度の充実、事業所内託児施設の整備	就業規則とは別に「育児・介護休業等に関する規則」を定めている。
	有給休暇を取得しやすい雰囲気・意識作りのため、具体的な取得目標を定め、取得状況を定期的に確認し、身近な上司等からの積極的な声かけを行っている。	有給を月一回ペースで利用することを奨励し、有給取得していない従業員には取得を試みるよう働きかけている。
腰痛を含む心身の健康管理	業務や福利厚生制度、メンタルヘルス等の職員相談窓口の設置等相談体制の充実	福利厚生制度（ワークピア府中）あり。メンタルヘルス等職員相談窓口を設置している。
	事故・トラブルの対応マニュアル等の作成等の体制整備	事故時の対応マニュアル、苦情解決にかかわる対応マニュアルを整備している。
生産性向上（業務改善及び働く環境改善）のための取り組み	5活動（業務管理の手法の一つ。整理・整頓・清掃・清潔・躰の頭文字をとったもの）等の実践による職場環境の整備を行っている。	5S活動についての研修を行い。整理・整頓・清掃・清潔・躰のチェックを行っている。
	業務手順書の作成や、記録・報告様式の工夫による情報共有や作業負担の軽減を行っている。	職員間の綿密な情報共有を行い、職員による情報量の多少がないようにする。
	介護ソフト（記録、情報共有、請求業務転記が不要なもの）、情報端末（タブレット端末、スマートフォン端末等）の導入	介護ソフトを導入している。タブレット端末を利用している。
やりがい・働きがいの醸成	ミーティング等による職場内のコミュニケーションの円滑化による個々の介護職員の気づきを踏まえた業務環境やケア内容の改善	日々朝夕にミーティングを行い職員間での情報共有に努めている。
	地域包括ケアの一員としてのモチベーション向上に資する。地域の児童・生徒や住民との交流の実施	地域密着推進会議において、地域住民を呼び、施設への理解や住民からの意見を受け入れている。
	利用者本位のケア方針など介護保険や法人の理念等を定期的に学ぶ機会の提供	従業員への介護研修や倫理研修を行っている。